

阪急阪神HDとのコーポレートPPAの実施

2026年8月7日
関西電力株式会社

当社はこのたび、阪急阪神ホールディングス株式会社（以下、阪急阪神HD）とコーポレートPPA^{※1}に関する契約を締結しました。

本契約に基づき、当社は小売電気事業者として、阪急阪神HDグループ向けに開発される太陽光発電設備（合計約10,000kW）から、追加性^{※2}のある再生可能エネルギー由来の電力および環境価値を、阪急阪神HDグループの阪急阪神不動産株式会社が大阪梅田で運営・管理する3施設^{※3}へ、2026年8月から順次供給します。これにより、年間約7,900t^{※4}に相当するCO₂排出量の削減効果が見込まれます。

3施設では、「再エネECOプラン」^{※5}の活用により、すでに使用する電力は実質的に再生可能エネルギー100%となっています。今後は、阪急阪神HDグループ専用の太陽光発電設備から電力供給を受ける本コーポレートPPAと「再エネECOプラン」を組み合わせることで、追加性のある再生可能エネルギーの導入を実現するとともに、再生可能エネルギー100%の電力使用を継続します。

また、対象施設の一つである大阪梅田ツインタワーズ・サウスでは、設備の設計から運転・保守管理までを一体的に担う「ユーティリティサービス」^{※6}を提供しています。これにより、エネルギー使用量の削減、エネルギーの安定供給およびBCP対策の強化にも貢献してまいります。

当社グループは、エネルギーと脱炭素ソリューションの一体提供により、お客さまのニーズにお応えするとともに、「エネルギー3.0」^{※7}を強力に推進し、2050年のゼロカーボン社会の実現に向けて取り組んでまいります。

※1：「Power Purchase Agreement」（電力購入契約）の略。需要家と発電事業者が小売電気事業者を介して長期・固定価格での電力購入契約を結ぶ、電力供給・調達方法。

※2：太陽光発電所の新設など再エネ総量の増加に直接寄与する価値。

※3：大阪梅田ツインタワーズ・ノース、大阪梅田ツインタワーズ・サウス、HEP ファイブ。

※4：2024年度の関西電力調整後の温室効果ガス排出量排出係数0.415 kg-CO₂/kWh から算出。

※5：再エネ由来の非化石証書の持つ環境価値を付加したCO₂フリーの電気料金メニュー。

※6：株式会社関電エネルギーソリューションの提供サービス。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

※7：エネルギーを軸としたソリューションサービスの提供と新たな事業領域への挑戦を相互に連携させて、最適な形でお客さまへお届けすること。

以 上

別紙：本事業の概要

小売電気事業者	関西電力株式会社
需要家	阪急阪神HDグループ
発電出力	約10,000kW
供給開始時期	2026年8月（予定）

